

施策		2010年度					2011年度		2012年度		備考	
計画名	施策名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上半期	下半期	上半期		下半期
御所市地域公共交通総合連携計画	施策①	関係機関との協議、調査、検討								●	●	●
	施策②	関係機関との協議、調査、検討								●	●	●
	施策③					●	●	●		●	●	●
	施策④					●	●	●	●	●	●	●
	施策⑤	関係機関(近鉄等)との協議								●	●	●
	施策⑥	ごせ★葛城の道臨時観光バスの運行					●	●	●	●	●	●
	施策⑦								●	●	●	●
御所駅周辺地域活性化計画	施策①						●	●	●	●	●	
	施策②							●	●	●	●	
	施策③							●	●	●	●	
	施策④	レンタサイクルの実施										
	施策⑤											
	施策⑥											
	施策⑦	(仮称)御所市活性化プロジェクトを立ち上げて、具体化を図る							●	●	●	●

施策		(参考) 施策概要
計画名	施策名	
御所市地域公共交通総合連携計画	施策① 御所市中心市街地へのアクセス改善と公共交通不便地域の縮小に向けたネットワークの構築	コミュニティバスの有料化を実施以降、利用者が減少傾向にあります。このような状況を踏まえ、御所市中心市街地へのアクセス改善や公共交通不便地域の縮小により、地域住民にとって、より利便性が高く効率的な路線及び運行形態に再編します。
	施策② 郊外部の小需要に対応したデマンド方式への運行形態の検討	需要が点在する郊外部では、利用者が著しく少ない区間があります。そこで、効率的かつ市民ニーズに適した交通体系の構築を図るために、郊外部の小需要・点在需要に対応できるデマンド方式による実証運行を進めます。
	施策③ 公共交通マップ作成等による利用促進	鉄道、路線バス、コミュニティバス等の公共交通事業者と連携・協力し、広報・啓発など利用促進策を講ずるとともに、乗り継ぎの円滑化等の利便性向上に取り組みます。
	施策④ 近鉄御所駅前広場のフィーダー交通の再配置と待合環境の改善	近鉄御所駅前の乗降スペースを再配置することで、交通結節機能を強化し、公共交通等の連携強化を図ります。また、バスのりばを「快適なバス停」に改良するために、待合環境を改善します。
	施策⑤ 近鉄御所駅周辺のアクセス性の向上	御所市中心市街地に位置する近鉄御所駅を利用される乗降客の利便性を改善するため、周辺の歩行経路並びに駅周辺から改札口へのアクセス性を改善し、周辺施設へのアクセス性向上を目指します。
	施策⑥ 市街地や葛城山麓にある観光地と鉄道駅を結ぶ交通体系の整備	市の玄関口である御所駅とその市街地にある御所まち界限等や葛城山麓に分布する高天彦神社等への観光地を繋ぐ交通体系を整備し、観光促進を行います。
	施策⑦ 御所駅等でのフィーダー交通や御所まち界限への案内サインの整備や歩行環境の改善	鉄道駅を降車してからの移動円滑化を図るため、鉄道駅から乗り換え先の鉄道駅、バス停、周辺主要施設及び観光地等への案内や誘導サインを整備します。また、駅周辺における歩行環境の改善を行います。
御所駅周辺地域活性化計画	施策① 御所駅周辺の景観づくり	御所市は、豊かな自然や悠久の歴史・文化遺産を今に伝える、ロマン漂う生活文化都市です。しかし、近年、市人口は減少しており、市役所、図書館等の公共施設が集積する御所駅周辺地区は、より大きな減少率となっています。このような状況を踏まえ、市の活力や市民のわがまちへの愛着低下が危惧されることから、まずは多くの市民や観光客が利用し、目に触れる機会が多い「御所駅周辺」において、市民にとって誇りとなり、観光客等が訪れたいと感じるような景観づくりを図ります。
	施策② 御所駅前空間の環境改善	御所駅は、多くの市民等に利用されており、なかでも近鉄御所駅は年間約100万人が利用する市の玄関駅です。駅利用者は、駅まで徒歩(40%)、自転車(25%)のほか、自家用車(送迎)やバス等で移動しており、「駅前待合スペースの再整備」など、快適な乗り換え環境づくりへの住民ニーズが高くなっています。このような状況を踏まえ、駅前広場でのバス・タクシー・送迎車等の再配置に合わせ、駅前空間での快適な移動及び乗り換え環境づくりを図ります。
	施策③ 駅前からの観光PRの強化	御所駅は、歴史的な街並みの残る「御所まち」に近接した位置にある駅であり、市の活性化という観点からの観光振興を図るため、また、観光客には鉄道等の待ち時間を有効活用し、より楽しんで頂くため、駅前から御所まちへの回遊を誘う観光PRの強化が重要となっています。このような状況を踏まえ、駅前空間～商店街区間～御所まちへと、より多くの観光客等が流れるよう、できることから整備等を図ります。
	施策④ 御所まちと商店街を含む、観光まち歩き・サイクリングルートの設定と、利用促進策の取組	御所駅前に位置する商店街では、近年訪れる人が減っており、商業者も「にぎわい、活力ある商店街」への再生を望んでいます。一方で、商店街の東には観光資源の御所まちがあり、西側には観光客が訪れる御所駅があります。このような状況を踏まえ、駅を訪れた観光客に御所まちの魅力を、また御所まちを訪れた観光客には駅からの自転車・バス等利用も含め、市内に点在する他の観光資源を楽しんで頂くため、さらには、御所まちと駅の間に位置する商店街には増加するであろう観光客に視点を置いた活性化に取り組んでもらえるような、観光まち歩き・サイクリングルートの設定と、利用促進策の取組を図ります。
	施策⑤ 御所まち、市役所・図書館、ライフ・銀行等の利便施設など周辺施設利用者を商店(街)へと引き込む市民等交流拠点づくり	御所駅前に位置する商店街では、近年訪れる人が減っており、商業者も「にぎわい、活力ある商店街」への再生を望んでいます。一方で、御所まちだけでなく、商店街の周辺にある市役所・図書館、ライフ・銀行等の利便施設など、商店街の周辺にある施設には多くの市民が日常的に訪れています。このような状況を踏まえ、周辺施設を訪れた市民等に、ついでにでも商店街を訪れてもらえるような、市民等交流拠点づくりを図ります。
	施策⑥ 住民の日常生活に馴染む形での街並みの魅力強化やPR、小さな活性化拠点づくり	御所駅の南東には、市民が誇れる歴史的街並みのある「御所まち」があり、「霜月祭」の開催時等には、多くの観光客が訪れる観光地となっています。一方で御所まちには多くの人が今も住み、日常生活を送る場となっています。このような状況を踏まえ、住民等の理解を得ながら、御所市や近隣商店街の振興のためにも、より多くの観光客が訪れる場にしていくことが望まれるため、住民の日常生活に馴染む形での歴史的街並みのPRや、観光客を呼び込み、もてなす理由となるような、小さな活性化拠点づくりを図ります。
	施策⑦ まちに残る「本物」ブランドのメニュー開発とPR	歴史的街並みの残る御所まちの中には、観光客が興味を引かれる雰囲気の良い店舗や事業所があり、「早大生による御所市活性化への提言」の中では、「御所と結びついた『物語性』ある新商品開発」や「ものづくり体験を通じた地域活性化」が提言されています。このような状況を踏まえ、地元の実業所やNPO等と協力を図りながら、地域の産業振興や歴史・文化の教育・体験を通しての御所まちのブランド化を進めることが重要と考えられ、まちに残る「本物」ブランドのメニュー開発とPRを図ります。